

有限会社福田ファーム SDGs宣言書



当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2025年9月25日

有限会社福田ファーム
代表取締役 福田 竜哉

◆経営方針

世界に誇れる安全で美味しいたまごを届ける

◆目指す姿

- ・品質へのこだわり:自社で一貫して鶏を育成し、特別な飼料(ネッカリッチと海藻)を使用することで、高品質な卵を生産します。
- ・持続可能な農業の実践:自然に優しい飼料を使用することで、環境に配慮した持続可能な農業を実践し、次世代にわたって持続可能な事業を目指します。

SDGsの達成に向けた取り組み

安全衛生

労働災害の防止や、社員の健康維持のために、社員一人一人へ安全・健康に関する様々な機会を提供することに努めます。

<具体的な取り組み>

安全衛生マネジメントシステムの推進(リスク評価、目標設定、対策実施など)／安全衛生・健康に関する研修(ヒヤリハット研修、禁煙教室等)の実施／鶏舎環境の改善により、作業者の負担軽減や近隣への配慮

— 関連ゴール —



働きがい

社員一人一人が仕事に対して高い意欲を持ち、自己実現の場として働きがいを感じられる環境を目指します。

<具体的な取り組み>

資格取得費用の補助、資格手当付与制度の整備／丁寧な教育指導／チームワークで完成度の高いものを作るやりがい／社員のキャリア面談の実施

— 関連ゴール —



省エネ・節電

CO₂排出抑制のため、さらなる省エネ・節電を推進します。

<具体的な取り組み>

照明のこまめな消灯や待機電力の節約／LED化の推進／再生可能エネルギーの導入・利用推進／工程改善等ロス削減による省エネ推進

— 関連ゴール —



温室効果ガス排出削減

ネッカリッチの原料である樹皮炭や木酢液の調達において、森林資源を有効活用します。

<具体的な取り組み>

メタンガス軽減を意図したネッカリッチの飼料への添加／鶏舎内の臭気(アンモニア臭など)軽減対策としての木酢液成分の活用／地域の農家へ鶏糞堆肥を提供することで循環型農業の推進

— 関連ゴール —



SDGsとは

2015年に国連で採択された「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。
2030年までに持続可能なより良い社会を実現するために取り組むべき17のゴール、169のターゲットが掲げられている。

